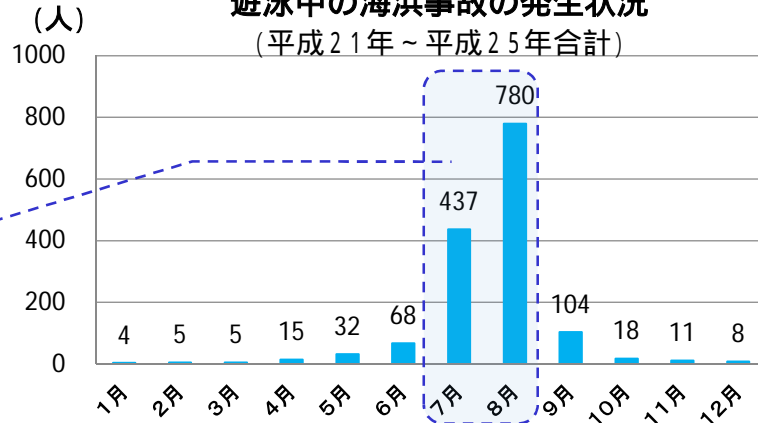


遊泳中の事故の傾向

遊泳中の海浜事故の発生状況
(平成21年～平成25年合計)



遊泳中の事故の約8割が
7月・8月の2か月に集中

遊泳に関する主な注意点

体調管理を万全に

～睡眠不足及び疲労蓄積の状態や病気による体調不良の状態では、判断能力や運動能力が低下し、遊泳中の事故に遭う危険性が高まります。体調を整えて泳ぎましょう～

遊泳禁止場所では泳がない

～急な深みのある場所や流れが速い場所などの危険な場所の多くは遊泳禁止となっているので遊泳はやめましょう～

悪条件の海での遊泳中止判断

～波が高いと感じる場合、風が強いと感じる場合など遊泳条件が良くないと感じる時は、無理をせずに遊泳を中止しましょう～

小さな子供から目を離さない

～保護者同士での会話などに夢中になり、子供から目が離れることがないようにしましょう～

離岸流に注意

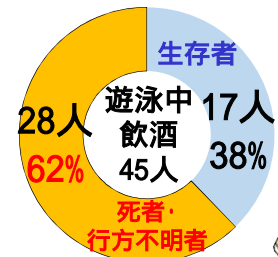
～沖に向かう流れに注意しましょう。もし流れに入り込んでしまった場合は、慌てずに岸に平行に泳ぎ、流れから抜け出しましょう～

飲酒後の遊泳に注意

～飲酒による判断能力や運動能力の低下などにより、遊泳中の事故に遭う危険性が高まります。飲酒後の遊泳は控えましょう～

すい えい
酔泳
注意

遊泳中の事故における
飲酒をしていた事故者の死亡率
(平成25年)



事故事例

【飲酒後に発生した事故事例】

会社の同僚と海辺の公園でバーベキューを行っていたが、**飲酒による高揚感**から、**海に飛び込み**すぐに溺れた。**仲間も救助のため飛び込んだが溺れ**、通行人が投げたロープに掛まり、救助された。

【睡眠不足状態で、長距離運転後に発生した事故事例】

睡眠時間が少ない状態で早朝自宅を出発。約6時間にわたる**長距離移動の後**、海水浴場到着。浮き輪を使用し遊泳していたところ溺れ、海底に沈んでいるのを発見された。その後病院で死亡が確認された。

【睡眠不足状態で、飲酒後に発生した事故事例】

徹夜明けの早朝、海水浴のため車で約4時間移動し海水浴場に到着。その後、**飲酒をしたうえで遊泳**をしていたところ溺れ、海水浴客に救助された。